

■■メールマガジン「静岡県防災」第25号■■

ビルの高層階を大きく揺らす「長周期地震動」、緊急地震速報に追加！！

○本日から「長周期地震動」が緊急地震速報に追加されます！

大きな地震が発生したときに、高層ビルでは船に乗っているような揺れを感じることがあります。

このようなゆっくりとした大きな揺れを「長周期地震動」といいます。

東日本大震災発生時、東京や大阪の高層ビルが、ゆら～ゆら～っと、大きく揺れる映像をご覧になった方も多いと思いますが、その時の揺れが長周期地震動によるものです。

長周期地震動が恐ろしいのは、震源から数百キロ離れている場所でもこのような揺れが長い時間続くことです。

気象庁では、「最大震度5弱以上」の地震について震度4以上を予想した地域に緊急地震速報を発表していますが、本日から、新たに「長周期地震階級3以上」を予想した地域にも緊急地震速報を発表することにしました。

○4つの階級区分

長周期地震動には4つの階級があり、「階級1：ほとんどの人が揺れを感じ驚く人もいる。」「階級2：物につかまらなると歩くことが難しいなど行動に支障を感じる。」「階級3：立っていることが困難。」「階級4：這わないと動くことができず、揺れにほんろうされる。」となっています。

～ 緊急地震速報が発表されたときに身を守るための行動 ～

緊急地震速報が発表された場合には、これまでどおり、まずは安全な場所で身を守る行動をとってください。

○高層マンションの室内では

頭を保護し、固定された丈夫な机の下など安全な場所に避難。

大きな揺れで飛ばされないよう体勢を低くして身の安全を確保する。

無理に火を消そうとしない。

○高層の商業ビルや大規模店舗などでは

安全な場所で頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる。

吊り下がっている照明などの下から退避する。

あわてて出口や階段に殺到しない。

施設の係員や館内アナウンスなどの指示があれば、それに従う。

○エレベーターでは

最寄りの階で停止させて、すぐに降りる。

移動のときには絶対にエレベーターを使わない。

閉じ込められたら落ち着いて外部と連絡を取り救助を待つ。

○長周期地震動への備えは

- ・家具や家電、オフィス機器等が転倒、移動、落下しないように固定する。
- ・キャスター付の家具はキャスターロックで移動を防止する。
- ・吊り下げ式の照明はワイヤーで固定する。

【参考】

政府広報オンライン <https://gov-online.go.jp/useful/article/202211/2.html>

気象庁ホームページ https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/lpgm_start/lpgm_start.html